

教育研究上の目的

教育人文学部は、建学の精神に基づき、教育学、心理学、文学を教育研究の中核として、価値や文化が多様化・多元化する中で、年齢や立場、認知的背景の異なりを超え、他者を受容し理解する姿勢を育み、創造と思考を重ねて生涯にわたって成長・発達を続ける人間を育成することを教育研究上の目的とする。

学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

教育人文学部は、教育学、心理学、文学を教育研究の中核として、人間を尊重し、他者と協働するという基本姿勢を具備する人材の養成を目指す。

さらに思考と創造を重ねて成長・発達を続ける人間を理解したうえで、他者と“共創”しながら、市民社会の形成に寄与することができる人材を養成することを目的とする。

本学部の目的を達成するため、次の学生像を人材育成の方針とする。

1. 「こころ」と「ことば」を根幹として、人間の創造活動を読み解く力、共感的理解力を備えた人間性、仮説をたて解釈・吟味する態度を身につける
2. 他者に寄り添いながら、自他共に学び続けることにより、現代的な諸問題を発見し、解決する力を身につける
3. 自他との深い対話を通して自己を確立し、多様な文化を認め合いながら、持続可能で豊かな地域社会の構築に寄与する力を身につける

教育課程編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）

教育人文学部では、価値や文化が多様化している現代社会において、人間らしく心豊かに生きていくために、対象との対話を通じた深い人間理解に基づく教育の実現を目指す。

本学部の教育課程は、基礎的な学修能力や社会に対する態度などを養う「共通科目」と各学科の専門的学修を行う「専門科目」の2つに区分し、本学部の人材養成に必要な科目を配置する。

具体的に特に次のようなカリキュラムを展開する。

1. 初年次より各学科の学びに対応したゼミ活動を取り入れ、大学での学びへの円滑な導入を図るとともに、自ら課題を設定し、主体的に学修に取り組む姿勢を養う
2. 共通科目では、学部必修科目として「人間理解ワークショップ」を設定し、自己理解・他者理解を深め、協働しながら新たな価値や発想を生み出す共創の力を養う
3. 4学科にそれぞれ専門科目を設定し、必要な専門的知識や技術を修得することで、社会に貢献できる力を養う
4. 共通科目や他学科開放科目の履修により、隣接する学問領域に触れ、専門性の裾野を広げるとともに、幅広い視野を身につけ、学際的な知識と柔軟な思考力を養う
5. 修得してきた知識・技術を統合し活用する能力を養うために「卒業研究」を必修科目として設定し、主体的かつ継続的に課題の探究に取り組み、生涯にわたり意欲的に学び続ける力を養う

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

教育人文学部では、次のような学生を求める。

1. 「こころ」と「ことば」の学びを通して人間について深く理解したいという意欲のある人
2. 自他がもつ可能性を見出し、共に支えあい、成長しようとする意欲のある人
3. 地域社会で人と協働し、未来の社会を創造していく意欲のある人